

# 南のななつ星

No.16



令和5年 11月10日

〒851-0245 TEL095-836-0085

長崎市千々町513番地

長崎市立南小学校長

田川 雄一

ありがとう南小 最後の1年を 最高の1年に



## 南小最後の小音会出演！ 最高の演奏でした。



私が初めて琴の演奏を聴いたのは南小に赴任した2年半前の入学式でした。あれからずいぶん長い期間をかけて、少しずつ練習に取り組んできました。「村まつり」も1学期から取り組んでいます。こんなに長い期間練習した学校は他にはないでしょう。いよいよ、その集大成をみせるブリックホールでの南小最後の演奏発表です。

「さくらさくら」は、5・6年の琴の演奏にあわせて、1・3・4年が斉唱しました。琴の音色がばっちり合って、斉唱も4人の歌声が伸びやかにホールに響きわたりました。桜の情景が浮かび上がるかのように、私たちもステージのそでで聞きながら心が震えました。

次の曲は「村まつり」です。子どもたちは移動や琴の準備を済ませ、茂木小から借用のはっぴを羽織りました。ここからは先生たちも加わります。和太鼓、鉦、リコーダーなど、琴の演奏に花を添え、一転してにぎやかな演奏が始まりました。どんどんひゅらら♪どんひゅらら♪ 気持ちはどんどん高まりつつも、心を一つに、リズムをそろえて演奏できました。会場は万雷の拍手。大成功という言葉はあまり使いたくないのですが、本当に大成功でした。南小の最後を飾るにふさわしい発表ができたと思います。



ここまで学校サポーター さん、 さんに全面協力を得て、演奏や歌唱指導はもとより、楽譜づくりから、琴の調弦まで、たくさん、たくさん、お世話になりました。この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。保護者の皆様はもちろんのこと、いろいろな方々のご協力で南小最後の小音会の発表ができました。本当にありがとうございました。

### 子どもたちの感想の一部を紹介します。

「みんなの声が会場に響いていてよかったです。」「4人の声で大きな声で歌えました。」

「琴を合わせてひけてよかったです。」「他の楽器に合わせてよかったです。」

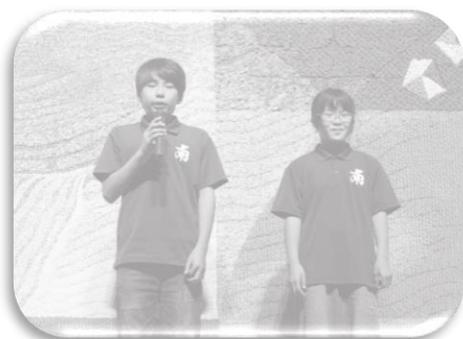
「音を合わせることができ、最後も同じタイミングでできました。」

「村まつりは速くならず全員で合わせることができました。」

「アドバイスどおり、間奏を優しくめにひけました。」「琴の演奏が楽しかったです。」

「他の学校は踊りながら歌ったり、合奏がよく合っていたり、すごいなあと思いました。」

「ほかの学校の歌がとてもすごかったです。」



小音会の最後を飾る代表挨拶は、南小が担当でした。緊張感の中、 さんと さんが立派につとめました。これだけの人の前で話をするというのは、めったにありません。二人の堂々とした話しぶりは、本当に頼もしい限りでした。 さん、 さん、最後まで本当にお疲れさまでした。とってもかっこよかったですよ。